

設置説明書

RKW-403A

リンナイ

特定保守製品

食器洗い乾燥機

所有者が所有者票の送付などにより所有者登録を必ず行うようご協力をお願いします。

流通の皆様へ =情報伝達のお願い=

この製品に同梱されている所有者票は、特定保守製品取引事業者（住宅販売事業者・販売店など）が所有者への法定説明や所有者登録への協力を行うために用い、その後、特定保守製品取引事業者から所有者へ渡していただく必要があります。製品の流通段階での周知を含め、所有者票を必ず特定保守製品取引事業者に渡していただくよう情報伝達をお願いします。

関連事業者（設置事業者）様へ

この機器は消費生活用製品安全法（消安法）で指定された「特定保守製品」ですので、設置事業者は消安法上、この機器の設置の際に所有者に対して、点検期間中に点検を行うことが必要であるとともに、この機器の製造事業者にも所有者登録や所有者情報の変更をしているか、登録や変更がなされていないようであれば、所有者にその必要性を伝える責務があります。また、同梱されている所有者票を必ず販売事業者（特定保守製品取引事業者）にお渡しください。（既に販売事業者から所有者へ渡されている場合は除きます。）

販売事業者（特定保守製品取引事業者・販売店）様へ

この機器は消費生活用製品安全法（消安法）で指定された「特定保守製品」ですので、販売事業者は消安法上、所有者に所有者票を示して「お客様へ（法定説明事項）」にある下記項目を説明する義務があります。また、所有者に所有者登録を必ず行うようお願いしてください。（登録の方法については取扱説明書をご覧ください。）

- この製品は経年劣化により危害をおよぼすおそれがあるため、この製品の所有者は点検期間に法定の点検（有償）を受けるなどの保守を行うことが求められています。
- この製品の所有者は所有者票の送付などにより、この製品の製造事業者にも所有者登録することが求められています。
- この製品の所有者はこの製品の製造事業者から点検期間の始まる時期に法定の点検通知を受けることになっています。
- この製品の所有者は所有者登録の情報に変更があった場合は変更の登録が求められています。（変更の方法については取扱説明書をご覧ください。）
- 所有者登録のため、この製品の所有者から所有者情報のご提供を受けた場合には、販売事業者は所有者票の送付などの方法でこの製品の製造事業者にも所有者情報を提供することになっています。

も く じ

1	安全上のご注意	1	8	設置後の点検	18
2	各部の名称および寸法図	3	9	試運転	19
3	付属品の確認	3	10	異常報知について	20
4	設置場所について	4	11	試運転後の作業	21
5	電気工事	5	12	冷却排水の設定	21
6	配管工事	6	13	所有者・お客様への説明	22
7	設置	9	14	仕様	23

設置される方へのお願い

- この機器を正しく安全にご使用いただくために、この設置説明書をよくお読みになり、法律に基づいて指定された設置を行ってください。
- 配管工事はすべて、水道法、建築基準法、各都市の条例規定に準じてください。
- 設置が終わったら「8 設置後の点検」のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- 試運転終了後、安全のため水道の元栓を閉めてください。また配電盤のブレーカは OFF にしないでください。

1 安全上のご注意

この設置説明書では製品を正しく設置をしていただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った設置をすると、あなたおよびお客様が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った設置をすると、あなたおよびお客様が傷害を負う可能性が想定される、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な注意（警告含む）



一般的な禁止



必ず行う



アース線の接続

- 設置完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

警告

お客様へ 設置される方へ	■据え付けはお買い上げの販売店、または専門業者に依頼する ご自分で据え付けをされ不備があると水漏れや感電・火災の原因になります。	 確認
	■アースを確実に取り付ける ●故障や漏電のときに感電するおそれがあります。 ●アースの取り付けは販売店にご相談ください。	 確認
	■定格15A のコンセントを単独で使用する 他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。	 確認
	■電源プラグは刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく 火災の原因になります。	 確認
	■電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不十分の場合、感電や発火の原因になります。	 確認

注意

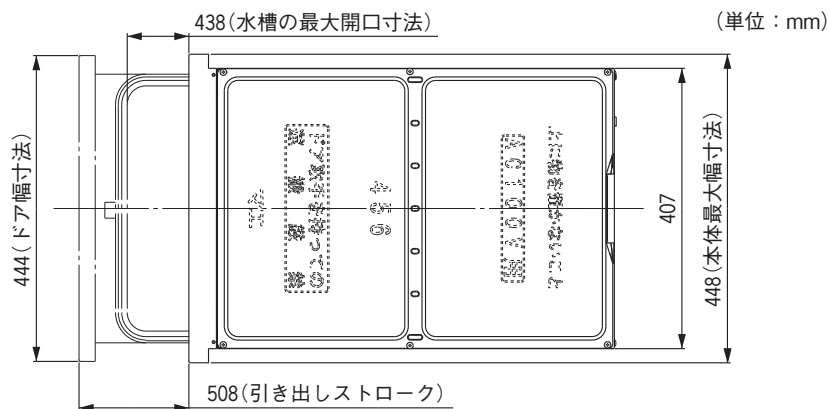
設置される方へ	■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。	 禁止
	■交流100V 以外では使用しない 火災・感電の原因となります。	 禁止
	■電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。	 禁止
	■設置部品は必ず付属品および指定部品を使用する 当社指定部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因になります。	 確認
	■製品の移動や据え付け時は手袋をして作業を行う 万一のけが防止のためです。	 確認
	■給湯、排水配管の端面はバリのないよう処理する。かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除く 配管つまりによる故障や、水漏れの原因となります。	 確認
	■凍結のおそれがある場所（室温 0℃以下）へは設置しない 水漏れの原因になります。	 禁止
	■電源回路は専用回路として、漏電しゃ断器を設置する 主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。	 確認
	■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 感電・ショート・発火の原因になります。	 確認
	■設置および試運転終了後、配電盤のブレーカは OFF にしない ブレーカが OFF になっていると、万一水漏れした場合、安全装置が作動せず、被害が大きくなる場合があります。	 禁止

2 各部の名称および寸法図

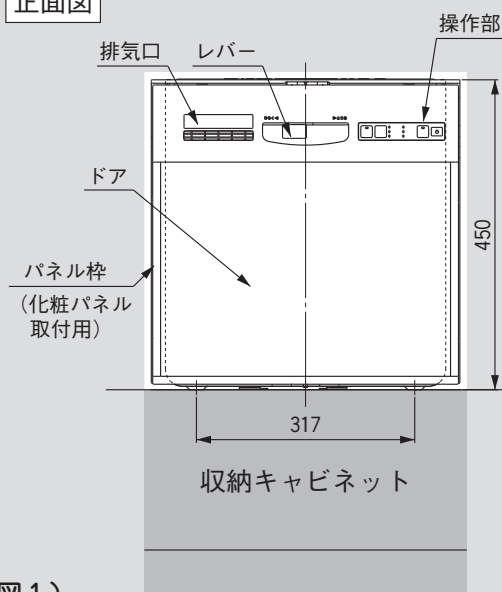
●ビルトイン奥行650mm以上が必要です。

※本機は、奥行600mmのキッチンには
設置できません。

平面図

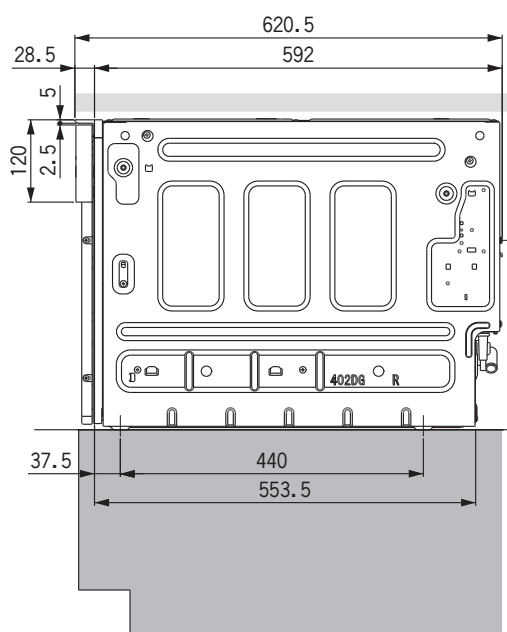


正面図



(図1)

側面図

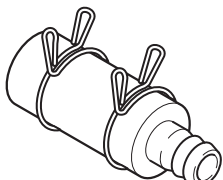
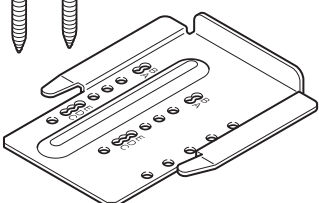
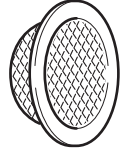
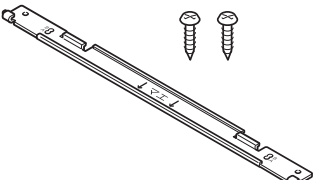
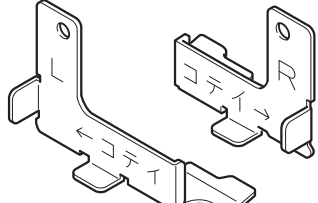
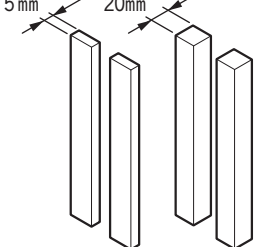
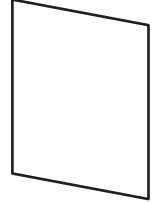


(図2)

3 付属品の確認 ●設置を始める前に付属品の有無を確認してください。

●付属品は、本体の中に同梱されています。

設置に必要な付属品

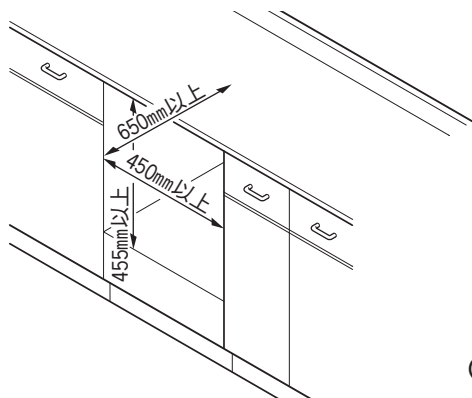
○接続ジョイント (ホース、ソケット、 ホースバンド(2個)のセット) 	○転倒防止金具 ○ねじ(2本) 	○フィルター付パッキン  ※フィルター付パッキンは給水ホースの先端の袋ナットとキャップの間に入っています。	○移動防止金具K ○ねじ(2本) 
○移動防止金具P(右、左) (2個) 	○スペーサー(各2個) 	○型紙 	

4 設置場所について

1 設置場所の確認

1. ビルトインスペースの確認

中間にビルトインする場合



(図 3)

片側が壁面または、トールユニットの場合

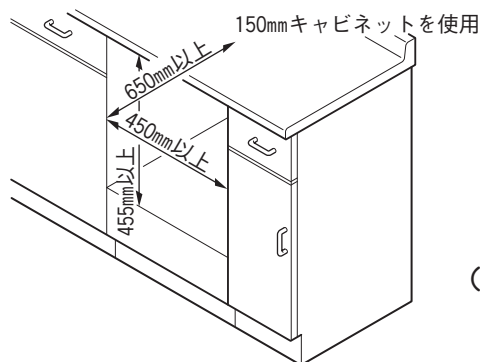
●カウンター支持金具は市販のL金具を使用します。

※締結ねじの長さは、右図のA寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。(図5) 法令(電気設備の技術の解釈第167条)により義務づけられています。

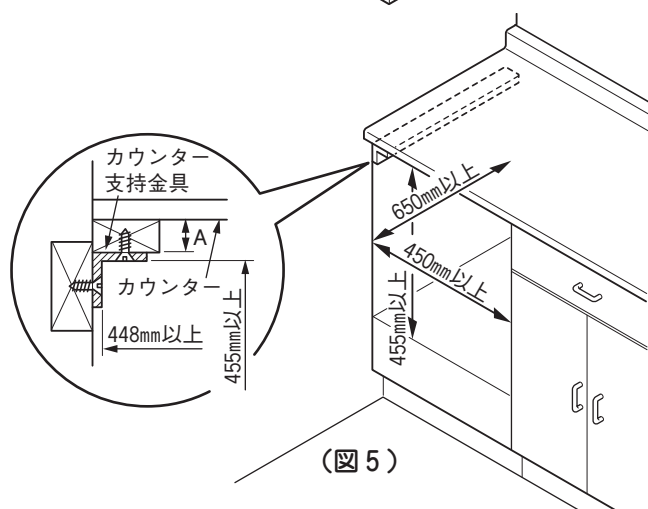
●ビルトイン型加熱機器などと並べて設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、たわむことがありますので、補強処置を施してください。(市販のL金具を使用します。)

片側がフリーの場合

●片側がフリーの場合、幅150mm キャビネットなどを使用して、カウンターを支える処置をします。



(図 4)



(図 5)

お願い

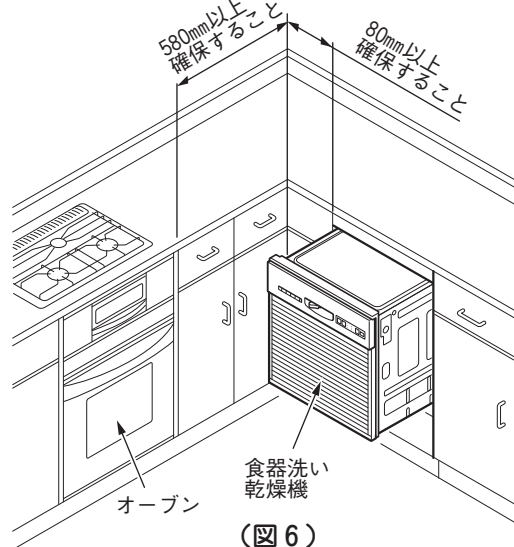
●L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオープン部の取っ手部に当たり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。(図6)

※本体の金属部品が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。法令(電気設備の技術の解釈第167条)により義務づけられています。

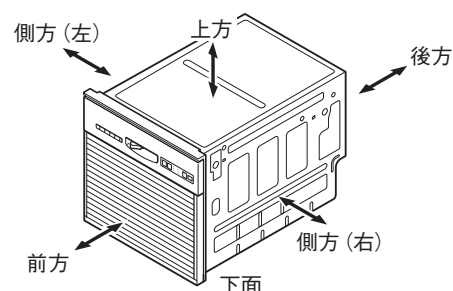
●この食器洗い乾燥機は「消防法告示第一号(対象火気設備などおよび火気器具などの離隔距離に関する基準)」に適合しております。

建築物の可燃物などからの離隔距離は以下の表に掲げる値以上の距離を保ってください。

消防法 基準適合 組込形 可燃物からの離隔距離 (cm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	—	0



(図 6)

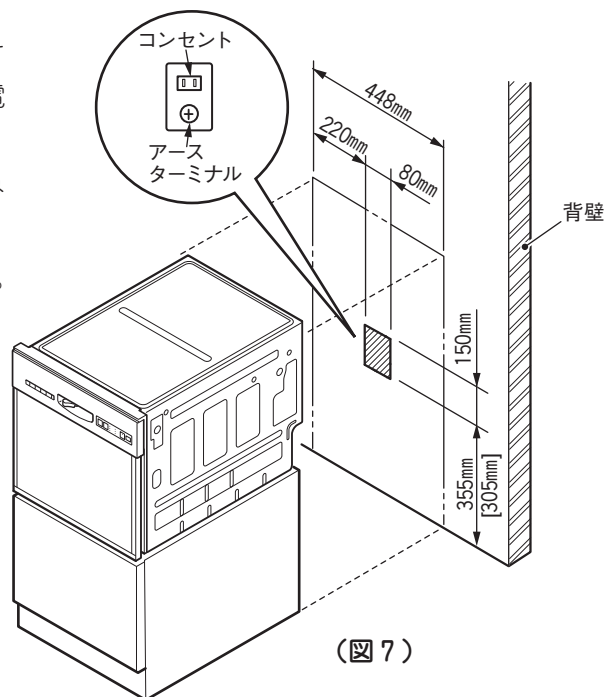


5 電気工事

1 電源の確認

■工事はすべて電気設備技術基準に準じて行ってください

- 電源回路は100V、15Aの専用回路が必要です。
- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水工事部分を避けた位置（図7）に埋め込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線しておいてください。
（コンセントは125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントを設けてください。）
- 本体の電源（電圧、周波数）表示は銘板に示しています。（図44）



※寸法はキッチン高さ850mmの場合、
[] はキッチン高さ800mmの場合

⚠警告

■15Aのコンセントを単独で使用する

他の器具と併用したり、容量以下のものは、異常発熱して発火の原因になります。



⚠注意

■電源回路は専用回路として、漏電しゃ断器を設置する

主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。

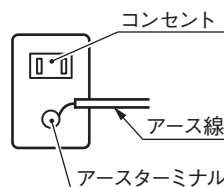


2 アースについて

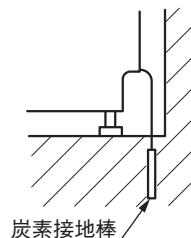
- 市販の炭素接地棒を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。
（電気工事士の有資格者がD種（第3種）接地工事をするよう法令で定められています。）
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令などで禁止されています。）
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。
（アース工事は有料ですのでご了承ください。）

アースターミナル付
コンセントの場合

炭素接地棒を使用の
場合



（図8）



（図9）

⚠警告

■アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

■アース線はガス管や水道管、電話や避雷針のアース線に接続しない

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



給湯・給水工事、排水工事例

■本機は配管直結タイプですので設計および施工工事の段階で給・排水の位置決めは正確に行ってください

- 給湯管は給湯用塩化ビニルライニング鋼管（相当品）を使用してください。
- 配管工事が図12～16の寸法になっているか確認してください。（必ず床上に、この寸法で配管してください。）
- 排水配管は呼び径以上のものを使用してください。かつ曲折部は90°ベンド、45°ベンドを使用してください。
- 給湯（給水）、排水配管の端面は、バリのないよう処理してください。かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除いてください。配管つまりによる故障や、水漏れの原因となります。
- 排水本管に至るまでの接続部品（図示していない）も耐熱塩ビを使い、配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
- 本機が使用できる水道圧力は0.03～1 MPa（0.3～10.0kgf/cm²）の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では減圧弁を取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧してください。水圧が高すぎると水漏れの原因になります。

⚠注意

■高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける

水漏れの原因になります。



確認

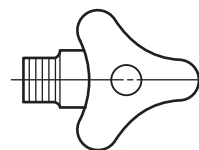
■70℃以上のお湯が供給される給湯（水）栓への配管には接続しない

故障の原因になります。



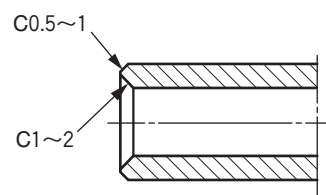
禁止

- アングル型止水栓または、ストレート型止水栓（ハンドル式またはドライバー式固定ゴマタイプ）を必ず取り付けてください。（図10）



（図10）

- 排水管 HT20の端面内周に、面取り（C1～2）を施してください。外径外面側は面取り（C0.5～1）をつけるとホースの挿入が容易になります。（図11）



（図11）

給湯器の確認

- 給湯接続の場合は10号以上の先止め式ガス湯沸器、石油給湯器、中型以上の深夜電力利用温水器などで70℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。

⚠注意

■元止め式ガス湯沸器、小型深夜電力利用温水器からの配管は絶対しない



禁止

■特に高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では給湯器に所定の減圧弁を必ず取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧する



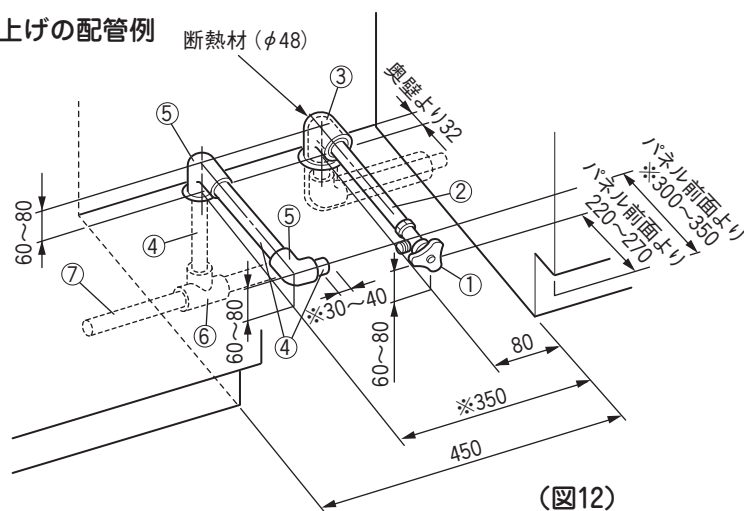
確認

食器洗い乾燥機設置キャビネット内での配管例

- ※印寸法は必ずお守りください。排水ホースが折れ排水不良の原因となります。
- 下記配管例以外の施工をする場合はお買い上げの販売店へご相談ください。

(単位：mm)

床立上げの配管例



(図12)

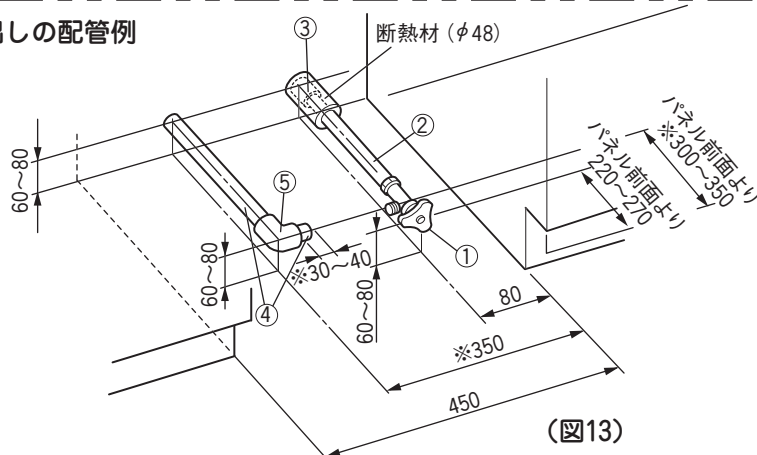
給水（給湯の場合は耐熱配管）

- ① アングル型止水栓
(ハンドル式またはドライバー式
固定ゴマタイプ)
- ② 硬質塩化ビニルライニング鋼管
- ③ Rc1/2エルボ

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- ④ HT20
- ⑤ HT20エルボ
- ⑥ HT40×20チーズ
- ⑦ VP40

壁出しの配管例



(図13)

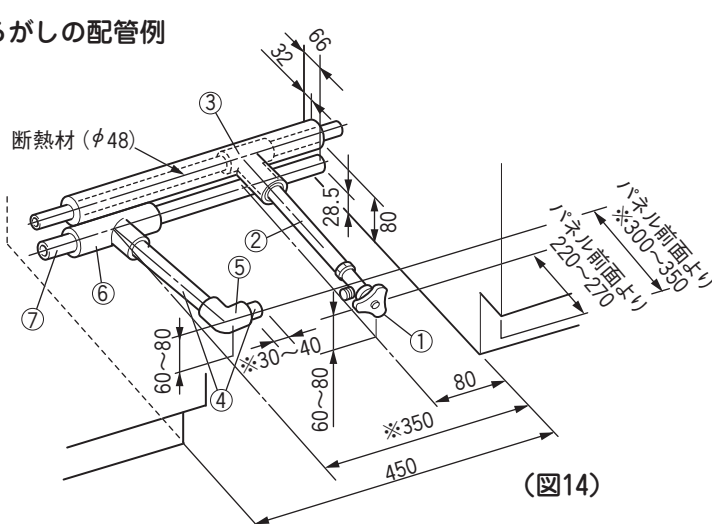
給水（給湯の場合は耐熱配管）

- ① アングル型止水栓
(ハンドル式またはドライバー式
固定ゴマタイプ)
- ② 硬質塩化ビニルライニング鋼管
- ③ Rc1/2ソケット

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- ④ HT20
- ⑤ HT20エルボ

床ころがしの配管例



(図14)

給水（給湯の場合は耐熱配管）

- ① アングル型止水栓
(ハンドル式またはドライバー式
固定ゴマタイプ)
- ② 硬質塩化ビニルライニング鋼管
- ③ チーズ

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- ④ HT20
- ⑤ HT20エルボ
- ⑥ HT40×20チーズ
- ⑦ VP40

●本機が使用できる水道圧力は0.03～1MPa（0.3～10.0kgf/cm²）の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では減圧弁を取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧してください。水圧が高すぎると水漏れの原因になります。

⚠注意

■高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける
水漏れの原因になります。



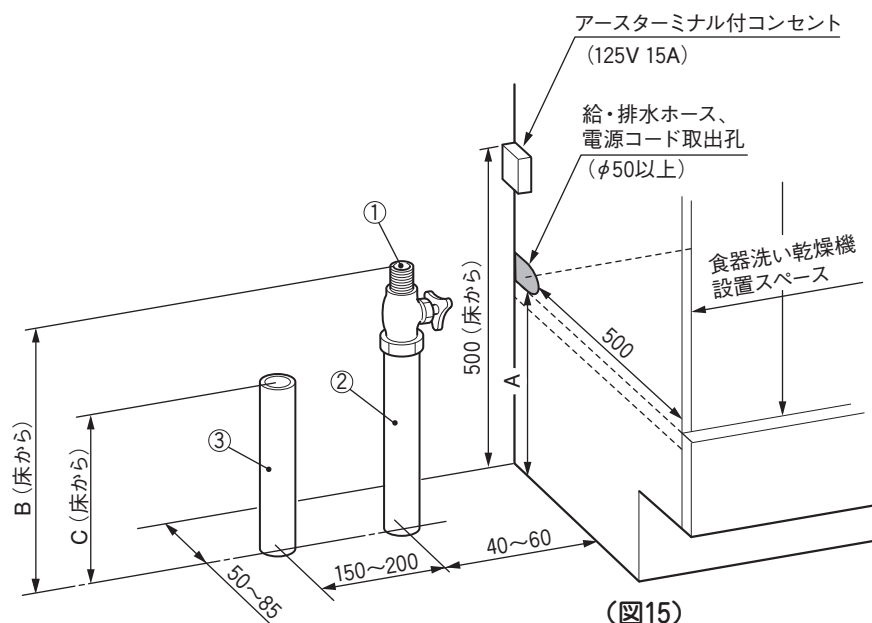
確認

隣接するシンクキャビネットでの配管例

(単位：mm)

床立上げの場合

A	床から食器洗い乾燥機設置面までの高さ
B	200～300
C	100～A寸法以下



(図15)

給湯（給水）

- ① ストレート型止水栓
(ハンドル式またはドライバー式
固定ゴマタイプ)

- ② 硬質塩化ビニルライニング鋼管

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

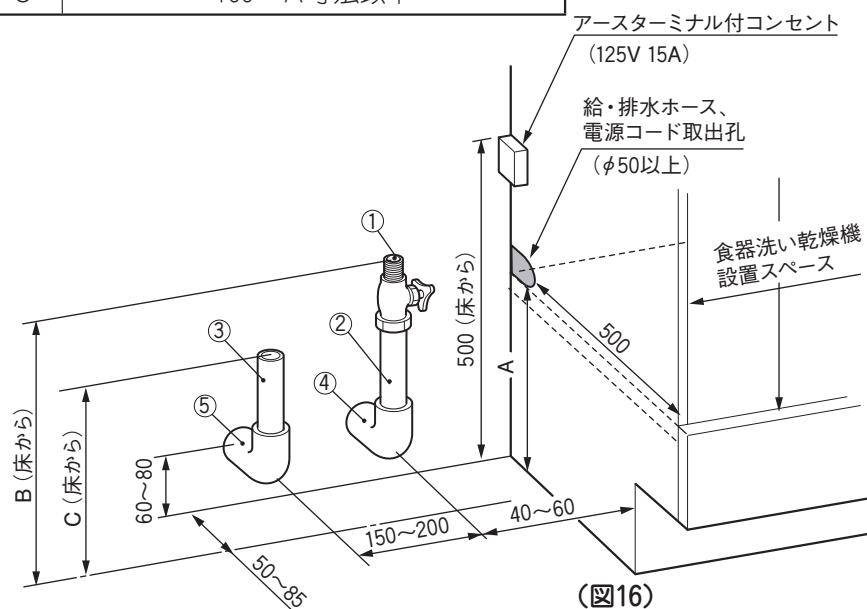
- ③ HT20相当品

※図15は、食器洗い乾燥機から見て、シンクキャビネットが左側の場合です。右側の場合は左右対称となります。

壁出しの場合

(単位：mm)

A	床から食器洗い乾燥機設置面までの高さ
B	200～300
C	100～A寸法以下



(図16)

給湯（給水）

- ① ストレート型止水栓
(ハンドル式またはドライバー式
固定ゴマタイプ)

- ② 硬質塩化ビニルライニング鋼管

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- ③ HT20相当品

- ④ Rc1/2エルボ

- ⑤ HT20エルボ

※図16は、食器洗い乾燥機から見て、シンクキャビネットが左側の場合です。右側の場合は左右対称となります。

●本機が使用できる水道圧力は0.03～1MPa（0.3～10.0kgf/cm²）の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では減圧弁を取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧してください。水圧が高すぎると水漏れの原因になります。

⚠注意

■高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける

水漏れの原因になります。



確認

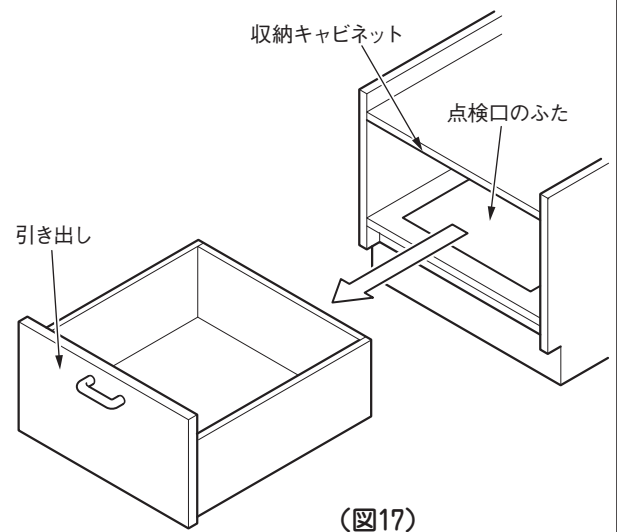
1 準備

※本機の設置予定場所に事前に設置されている収納キャビネットの構成部材の一部を取りはずしてください。

引き出しを取りはずします

- 引き出しをはずすだけで内部に事前の配管が見える場合は、他に取りはずす部材はありません。
- 引き出しを抜いた内部の底面に点検口のふたがあるものは、これを取りはずします。
(点検口の中に事前の配管が見えます。)
- 取り出した引き出しおよび点検口のふたは「試運転」終了まで取り出した状態にしておきます。

※収納キャビネットの構成が上記と異なる場合は、事前の配管が見えるようになるところまで部材ははずしてください。



(図17)

2 転倒防止金具の取り付け

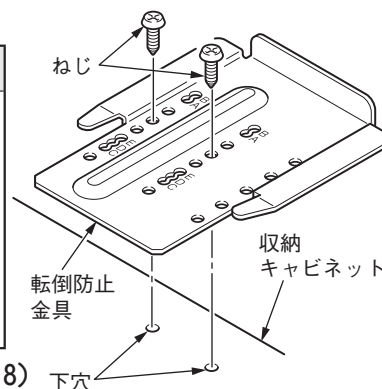
- 付属品は、本体の中に同梱されています。
- 転倒防止金具（同梱）を型紙（同梱）に記載されている説明に従って2本のねじ（同梱）で収納キャビネットに取り付けてください。

△注意

■電動ドライバーは使用しないで手締めする

ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。

確認

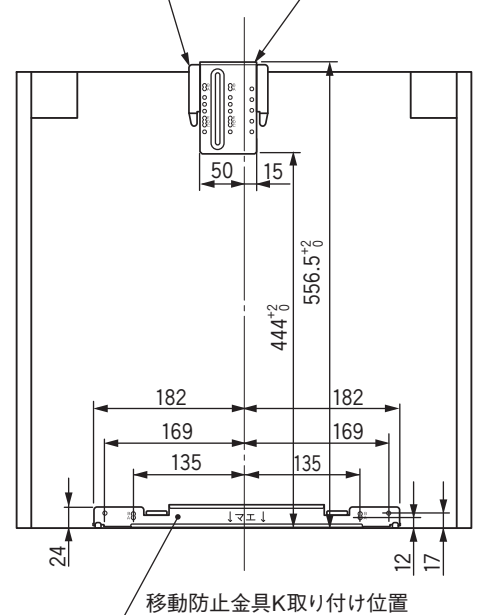


(図18) 下穴

※転倒防止金具および移動防止金具Kの取り付け位置

天板の後面後部より
10mm以上手前の
穴位置で固定

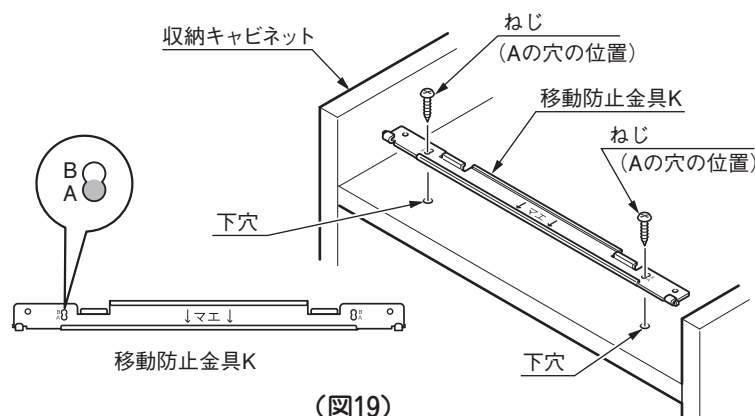
転倒防止金具
取り付け位置



(図20)

3 移動防止金具の取り付け

- 移動防止金具K（同梱）を型紙（同梱）に記載されている説明に従って、Aの穴の位置に2本のねじ（同梱）で収納キャビネットに取り付けてください。



(図19)

△注意

■電動ドライバーは使用しないで手締めする

ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。



確認

△注意

■移動防止金具と転倒防止金具は、必ず所定の位置に取り付ける

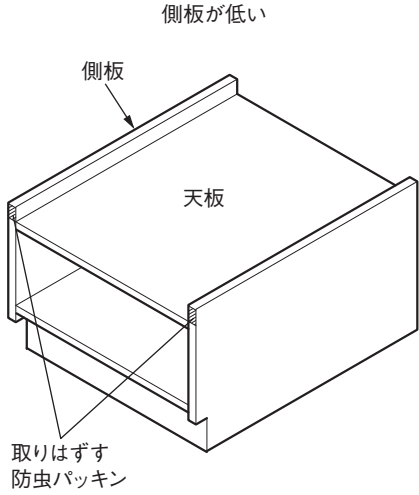
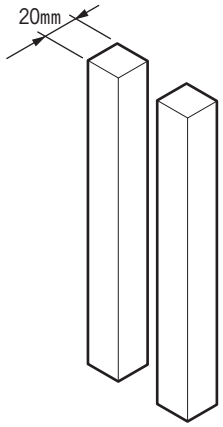
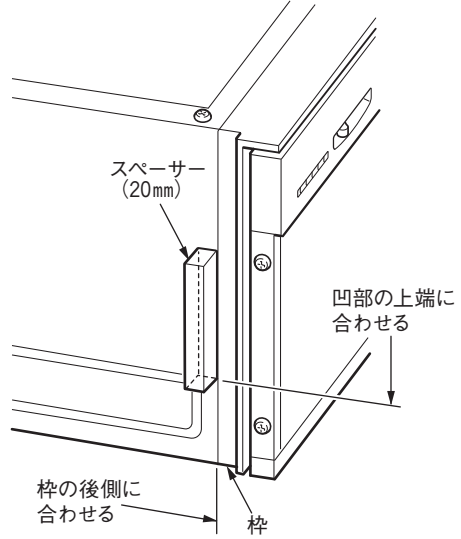
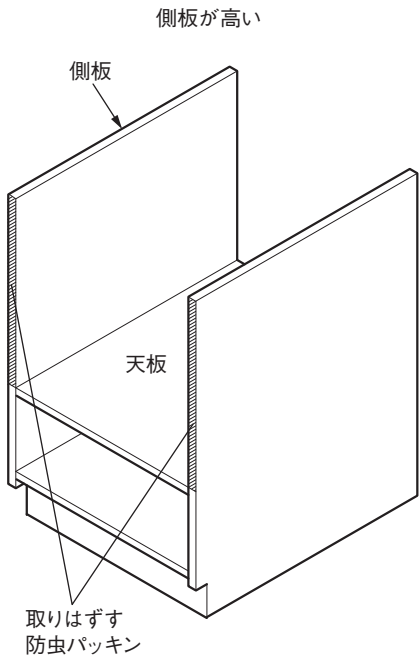
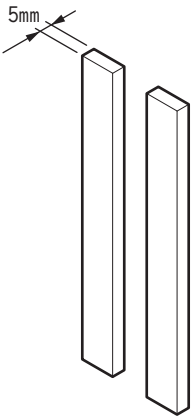
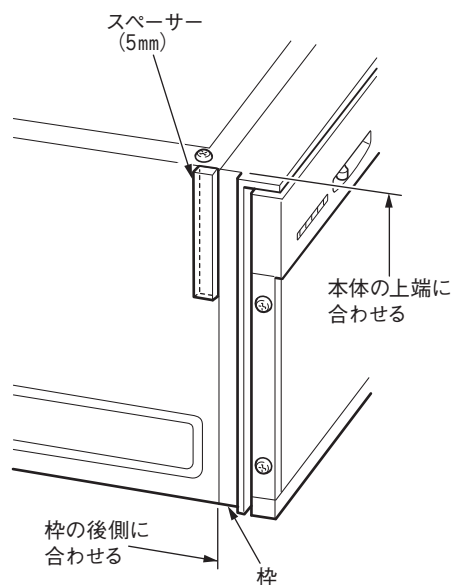
本体が移動して水漏れが起きるおそれがあります。



確認

4 スペーサーの張り付け

- ①本体が横方向に移動するのを防止するため、スペーサー（同梱）を本体の外側面に張り付けてください。
- ②設置されている収納キャビネットの側板の高さにより、使用するスペーサーおよび張り付け位置が異なります。下記表によってスペーサーを選び、正しい位置に張り付けてください。
- ③下図の斜線部分に防虫パッキンが貼付されている場合は取りはずしてください。

収納キャビネットの形状	使用するスペーサー	スペーサーの張り付け位置
側板が低い 		
側板が高い 		

（表1）

⚠警告

- スペーサーは指定された位置に上記スペーサーを張り付ける
- 上記スペーサー以外にスペーサーを追加しない

キッチンにビルトインする時、本体に無理な力が加わり水漏れが起きるおそれがあります。



確認

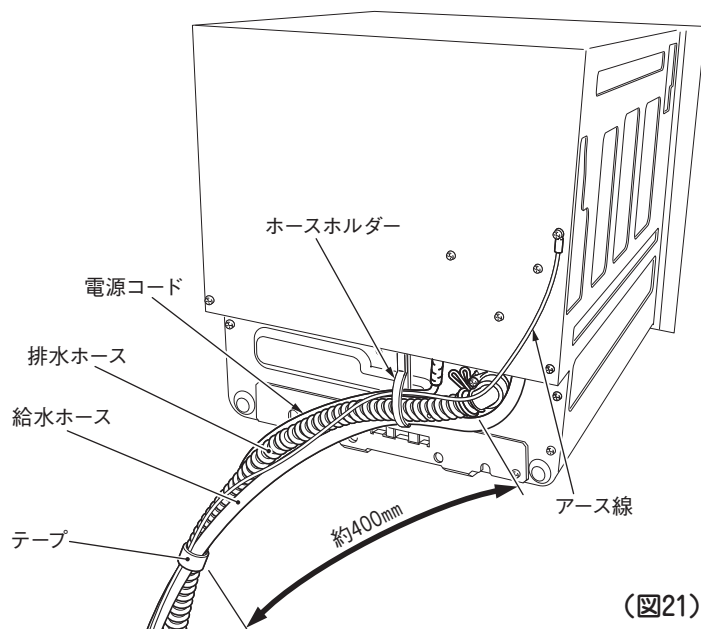
食器洗い乾燥機設置キャビネット内で配管する場合

- 本体後面の給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線を下図のようにテープで結束してください。

お願い

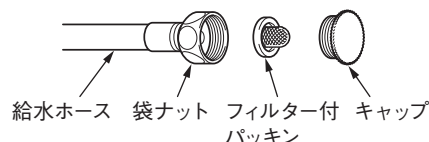
- 本体をキャビネットにビルトインする時に電源コード、アース線、ホース類が転倒防止金具にかみ込まないようにするためです。また、作業も容易になります。必ず行ってください。

※ホースホルダーは取りはずさないでください。



(図21)

※フィルター付パッキンが、給水ホースの先端の袋ナットとキャップの間に入っていますのでなくさないでください。



⚠注意

■給水ホース、排水ホースの上に 本体を載せない



禁止

給水ホース、排水ホースが破損し、水漏れの原因になります。

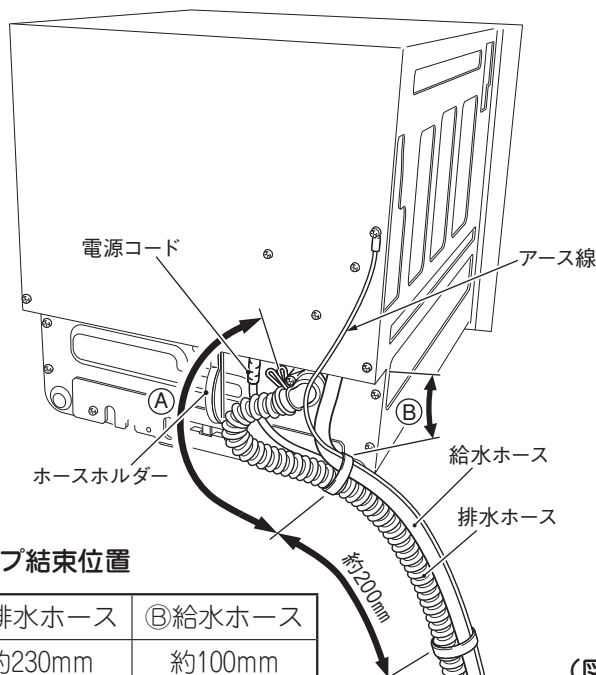
隣接するシンクキャビネット内で配管する場合

右接続の場合

- 食器洗い乾燥機設置キャビネット内で配管する場合と同じ位置で、ホース・コード類の結束を行ってください。(図21参照)

左接続の場合

- ① 給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線をホースホルダーから取りはずします。
- ② 給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線を下図のようにテープで結束してください。(2箇所)

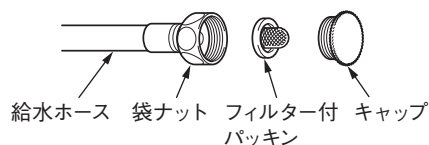


テープ結束位置

①排水ホース	②給水ホース
約230mm	約100mm

(図22)

※フィルター付パッキンが、給水ホースの先端の袋ナットとキャップの間に入っていますのでなくさないでください。



⚠注意

■給水ホース、排水ホースの上に 本体を載せない



禁止

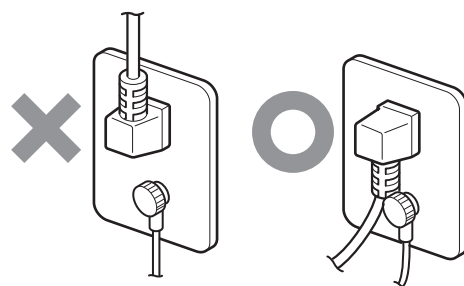
給水ホース、排水ホースが破損し、水漏れの原因になります。

- ①電圧が100Vであることを確認してから埋め込みコンセントに電源プラグを差し込んでください。
- ②アース線をアースターミナルに接続してください。

⚠注意

■電源プラグはコードが下方向に出るようコンセントに差し込む

コードが上方向に出ますと、機器をビルトインした時、コードが傷つくことがあります。



(図23)

⚠警告

■電源プラグは刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく 火災の原因になります。



必ず行う

⚠注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。



必ず行う

■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

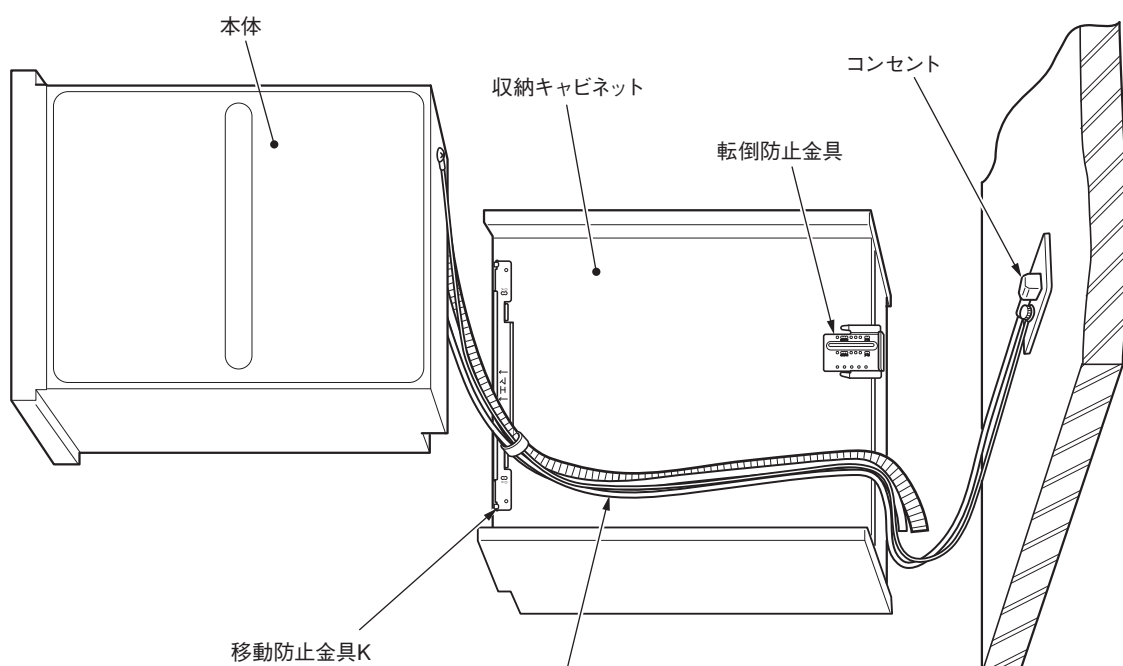


禁止

■電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止



※ホース類は、転倒防止金具の右側を通すこと。

(図24)

食器洗い乾燥機設置キャビネット内で配管する場合

- ① 本体の後脚を収納キャビネットに寄せ、前に傾けた状態で給水ホースと排水ホースを転倒防止金具の右側から収納キャビネットの下側に挿入する。(図25)

お願い

- ドアや前枠を持たず、必ず本体下面の両端を手で支えてください。
※ 本体下面の中央部を支えると、本体下面が変形し（上に反り）、ドアを引き出す際に、水槽下面と本体下面が干渉するおそれがあります。
- 給・排水ホースが折れ曲がらないように、収納キャビネットの下側に挿入してください。

- ② 本体を収納キャビネットの上をすべらしながら押し込んでください。約150mm ぐらい押し込みを残した位置で収納キャビネットの下側に手を入れて給水ホースと排水ホースを手前に引き寄せてください。(図26)

- ③ 本体前面（左右）の飾り枠が収納キャビネットの側板の前面木口に当たるまで本体を押し込んでください。(図27)

お願い

- 隣接する機器などに注意して本体中央をゆっくり押しってください。

⚠注意

■ 水槽を開いて本体の出し入れをしない

水シール部が変動して水漏れが起きるおそれがあります。



禁止

■ 給・排水ホースを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工したりしない

給・排水不良の原因になります。

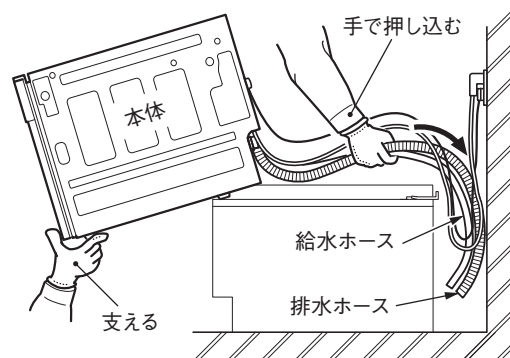
隣接するシンクキャビネット内で配管する場合

- ① 本体の後脚を収納キャビネットに寄せ、前に傾けた状態で給水ホース、排水ホース、電源コード、アース線をシンクキャビネット側（給・排水接続部）に挿入する。(図28)

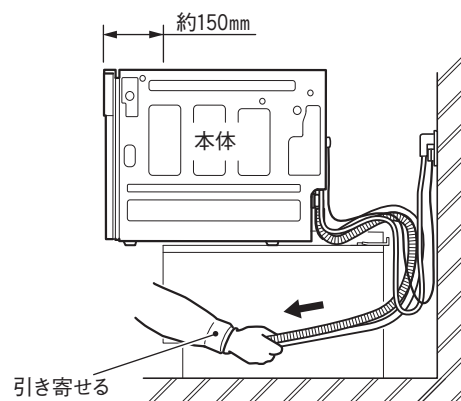
- 電源コード、アース線を先に挿入しておくこと、作業が容易となります。また、給・排水ホースの先端に、約50cm のヒモなどをしばりつけて引きだしやすくしておけば、さらに作業が容易となります。

お願い

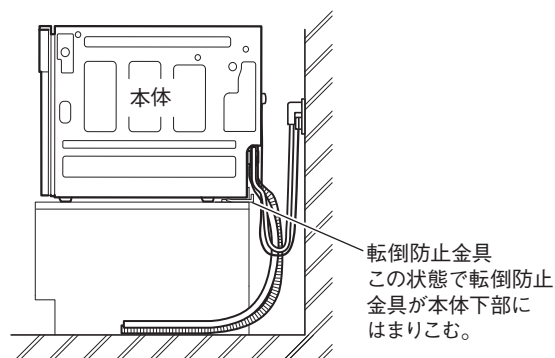
- ドアや前枠を持たず、必ず本体下面の両端を手で支えてください。
※ 本体下面の中央部を支えると、本体下面が変形し（上に反り）、ドアを引き出す際に、水槽下面と本体下面が干渉するおそれがあります。



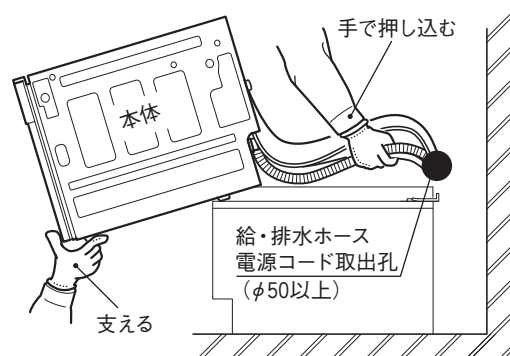
(図25)



(図26)



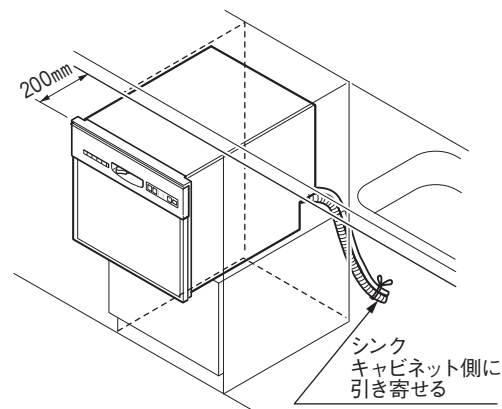
(図27)



(図28)

7 本体のビルトイン

②本体を収納キャビネットの上をすべらしながら押し込んでください。約200mm ぐらい押し込みを残した位置で給水ホースと排水ホースを引き寄せてください。(図29)

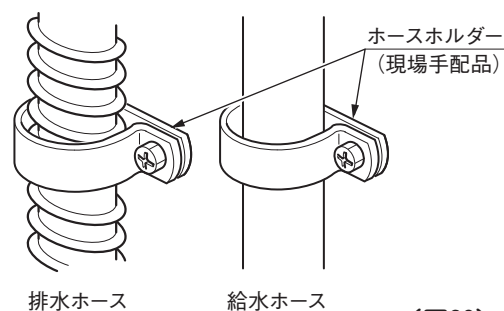


(図29)

③本体前面（左右）の飾り枠が収納キャビネットの側板の前面木口に当たるまで本体を押し込んでください。

お願い

●隣接する機器などに注意して本体中央をゆっくり押ししてください。また、シンクキャビネット側の収納部と給・排水ホースが干渉する場合は、ホースホルダー（現場手配品）などを使用して固定してください。(図30)



(図30)

⚠注意

■給・排水ホースを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工したりしない
給・排水不良の原因になります。

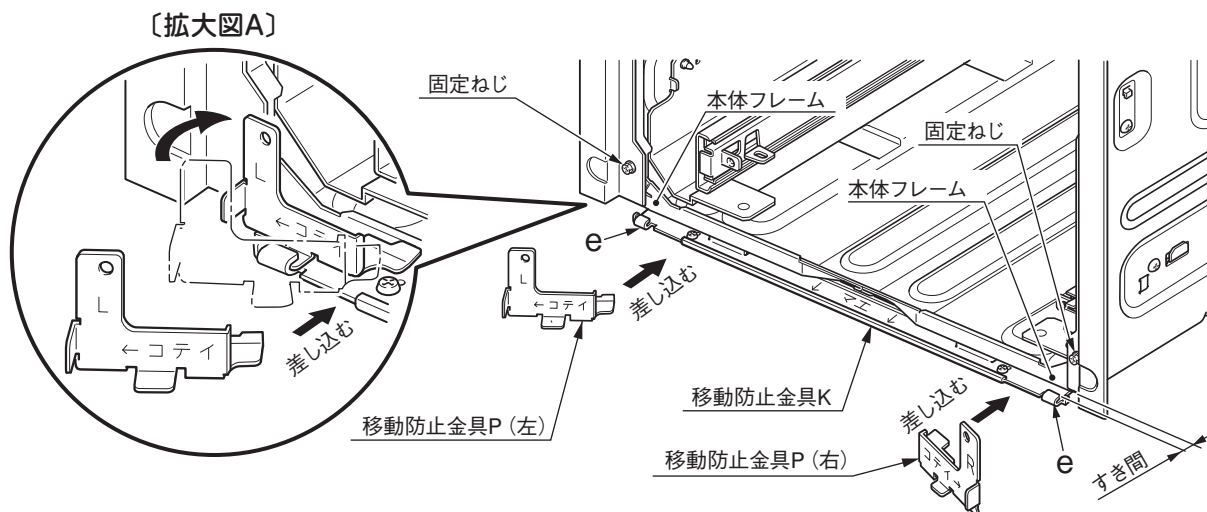


禁止

※給水ホースの曲げ半径は、50mm（外）以上になるよう引き回してください。

8 移動防止金具の取り付け

①ドアを少し引き出して本体手前（左右）下側の固定ねじを取りはずしてください。（④で再び使用します）
②移動防止金具Pを本体と移動防止金具Kの間に差し込んでください。（拡大図A）このときに、移動防止金具Pの先端とねじが干渉しないように少し傾けながら差し込むと作業が容易になります。
※移動防止金具Kの両端部eと本体フレームの間にすき間があるように、本体をきちんとキャビネットに納めてください。
※図31は見やすくするため、水槽など一部の部品を省略しています。



(図31)

8 移動防止金具の取り付け

③移動防止金具P（左）を右から左側へスライドさせて、ツメを差し込んでください。（図32）

※本体が収納キャビネットの奥までセットされていないと金具が取り付けにくくなります。奥まで本体をセットしてから作業をしてください。

④移動防止金具Pを①で取りはずした固定ねじで枠に固定してください。

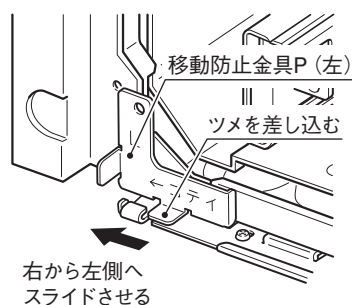
⑤移動防止金具P（右）も同様の手順で取り付けてください。

※図32、33は見やすくするため、水槽など一部の部品を省略しています。

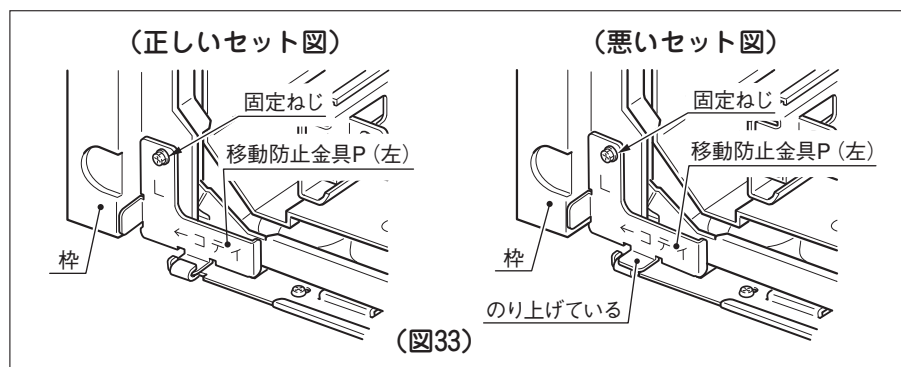
お願い

●必ず移動防止金具の取り付け作業を実施してください。

※作業しないとドアの開閉により本体が手前に移動して収納キャビネットから落下するおそれがあります。また、無理に取り付けると、異音の原因や枠が変形してドアが完全に閉まらないことがあります。



（図32）



（図33）

9 パネル（化粧板）の取り付け

①ドアを少し引き出し、パネル枠下の取り付けねじ（3本）をはずしてパネル枠下をはずしてください。（図34）

⚠注意

■先にパネル枠（左右）を無理にはずさない

❌ 禁止

破損の原因になります。

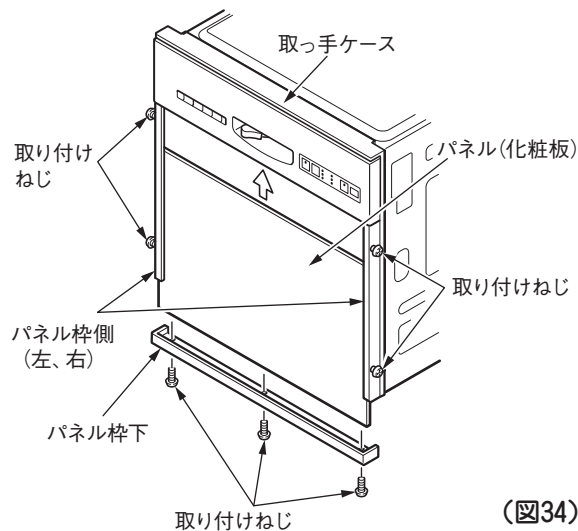
②パネル枠側（左右）取り付けねじ（各2本）をはずしてパネル枠側（左右）をはずしてください。（図34）

③パネル（化粧板）の防水処理を下記の方法で必ず実施してください。

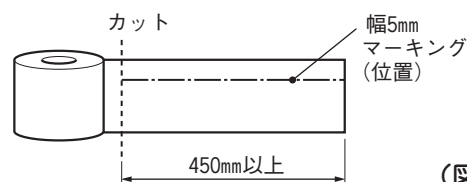
(1)幅50mmの離型紙付アルミ粘着テープ（現地調達品）を準備してください。

(2)450mm以上で少し長めにカット（3枚用意してください）した後、硬めのシャープペンシルなどで幅5mmの位置にマーキングしてください。（図35）

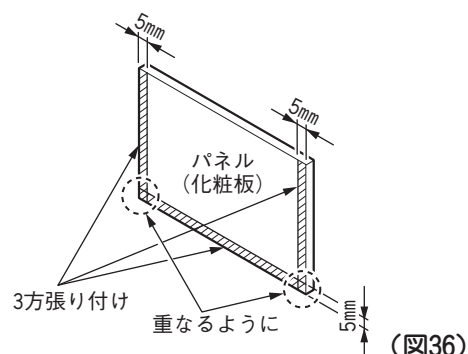
(3)アルミ粘着テープの離型紙をはがし、マーキング跡にパネル表面側（化粧面）下端を合わせてセットし張り付け、（幅5mmを表面側に張り付ける）あまりはそのまま木口面、裏面側へと張り付けてください。パネル（化粧板）からハミ出た部分は切り取ってください。（図36）



（図34）



（図35）



（図36）

お願い

- アルミ粘着テープの表面側は、5 mm 幅を必ずお守りください。
- アルミ粘着テープを張り付ける際は、シワのないように張り付けてください。
- (4)同様に左右2箇所も行ってください。このとき下端と重なる角は、アルミテープをそのまま重ねて張り付けてください。(図36)
- ④パネル（化粧板）を取っ手ケースの溝に挿入してパネル（化粧板）を押しつけながらパネル枠側（左右）を取り付け、取り付けねじ（各2本）で締めてください。(図34)
- ⑤パネル枠下を取り付け、取り付けねじ（3本）で締め付けてください。(図34)

⚠注意

■電動ドライバーは使用しない

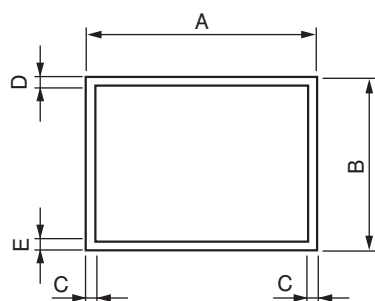
パネル枠（樹脂）が変形するおそれがあります。



禁止

※パネル（化粧板）の厚みによってはパネル（化粧板）が浮くことがありますので、両面テープ（現地調達品）でドアに仮付けしてください。(図37)

パネル（化粧板）の寸法

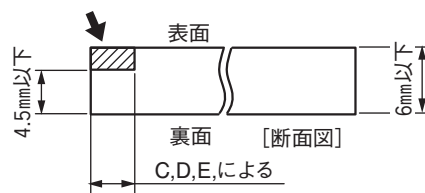


(図38)

(単位：mm)

	寸 法
A	433±1
B	324±1
C	6.5
D	6.5
E	8.5

厚さ4.5mm以上6mmまでのパネルをご使用になる場合は、外周（斜線で指定した部分）の表面を、厚さ4.5mm以下になるようにけがき線を入れ、斜線部を削り取ってください。



(図39)

- アングル型止水栓（ハンドル式固定ゴマタイプ）にフィルター付パッキンを入れ給水ホースを確実に締め付けてください。(図40)

お願い

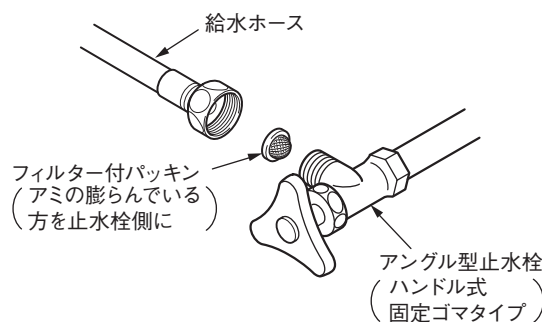
- ナットは手で軽く締めこんだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。
- ※適正な締め付けトルクは5～10N・m（50～100kgf・cm）です。

⚠注意

■フィルター付パッキンは必ず所定の位置に取り付ける



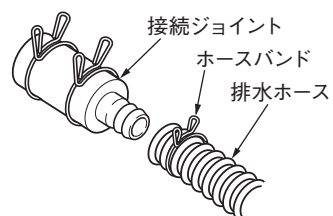
確認



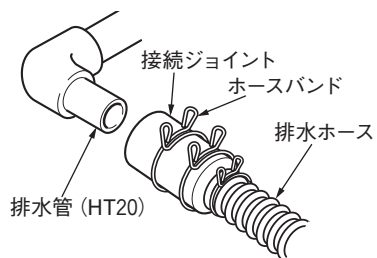
(図40)

11 排水管との接続

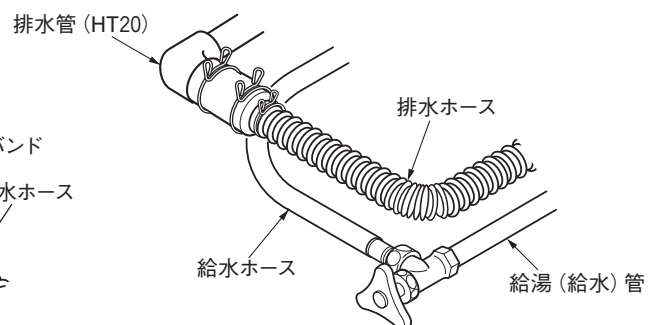
- 接続ジョイントと排水ホースを接続します。(図41)
(ホースバンドは排水ホースに取り付けてあります)
その後、排水管 (HT20) に接続ジョイントをホースバンドで固定してください。(図42)
この時、排水ホースは給湯 (給水) 管や、給水ホースの上を通るように配管してください。(図43)



(図41)



(図42)



(図43)

⚠注意

■排水ホースが折れたり、ねじれがないか確認する
排水不良の原因になります。



8 設置後の点検

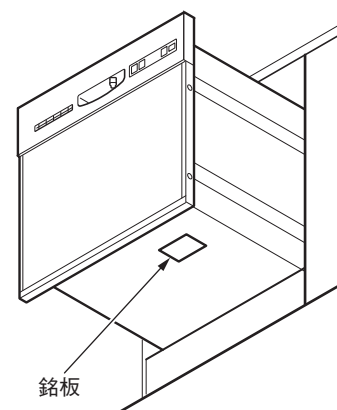
チェックリスト				
点 検		点 検 内 容	参照項目	チェック
機器および その周辺	電 源 (電圧)	銘板表示と使用電源が適合していますか。	5-1	
	ド ア の 開 閉	他の機器への障害はありませんか。	4-1	
	転 倒 防 止 金 具	転倒防止金具および移動防止金具は取り付けましたか。	7-2	
	移 動 防 止 金 具		7-3	
給排水 (給水・排水)	給湯器との接続の場合	指定する給湯器に接続されていますか。	6-1	
	フィルター付パッキン	給水ホースと止水栓との接続部にフィルター付パッキンを挿入しましたか。	7-10	
	排 水 ホ ー ス	排水管との接続部は確実に接続したことを確認しましたか。また押しつぶされたり、無理に折れ曲がったりしていませんか。	7-11	
電 気 接 続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15A のアースターミナル付埋め込みコンセントに接続しましたか。	5-1	
		アース線を接続しましたか。	5-2	

※点検・修理の際には製造番号の確認が必要になることがあります。

製造番号は、銘板または水槽上面のラベルに表示してあります。

〈銘 板〉

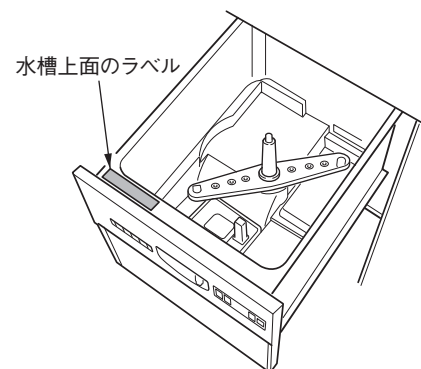
食器洗い乾燥機			
定格電圧	100V	RKW-403A	
周波数	50/60Hz		
電動機定格消費電力	65/85W	PSE	
ヒータ定格消費電力	800W		
製造番号			
製造者 リンナイ株式会社			
型式 RKW-403A	JQA		
ⓈJ W W A	消防法 基準適合 組込形		
品質認証センター 認証品	可燃物からの離隔距離 (cm)		
	上方	側方	前方 後方



銘板

〈水槽上面のラベル〉

特定製造事業者名			
特定保守製品 型式:	製造番号:		
特定製造事業者等名:	製造年月: 年 月		
設計標準使用期間: 年	点検期間: 年 月~ 年 月		
	問合せ連絡先:		
住 所	連絡先事業者および部署名	電話番号	



水槽上面のラベル

(図44)

9 試 運 転

※試運転の前に必ず他の水栓より数リットルの水を流して、配管内のさびなどを流してください。

■取扱説明書に基づき、試運転を行ってください。なお、次の手順で試運転を行うと短時間で行うことができます

- ①止水栓を開きます。
- ②食器かごを水槽内から取り出します。
- ※試運転の時に配管内のさびが食器かごに付着するおそれがあるためです。
- ③ドアを閉じます。レバーを「とじる」の位置までいっぱい動かしてください。
- ④  「電源」ボタンを押して、電源を「入」にします。
- ⑤「コース」ボタンを押して「予洗い」コースを選んでください。
- ⑥「スタート／一時停止」ボタンを押してください。（「予洗い」コースが開始し、約7分間で終了します。）
- ⑦次の確認を行ってください。

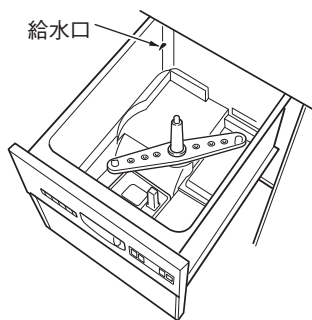
●一定量の水が入ればシャワーを噴射しながら水槽内のノズルが回転します。

（噴射音：バシャバシャ音が聞こえるか確認してください。）

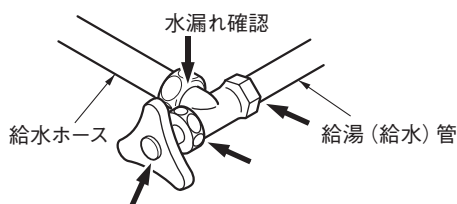
※試運転は、運転が終了するまで確実に行ってください。途中で停止させないでください。

※試運転が15分以上かかる場合は、フィルター付パッキンに異物が付着している可能性があります。フィルター付パッキンをはずして掃除してください。

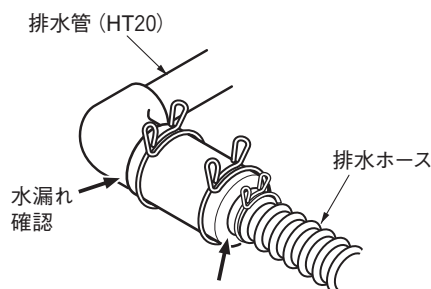
※運転中に次ページの異常報知が表示された場合は、表示内容に対応した処置を行ってください。



(図45)



(図46)



(図47)

●運転が終了するとブザーが鳴り、電源が「切」になりますので、終了後ドアを開けてください。（水槽内の水が排水されていることを確認してください。また運転中給排水接続部からの水漏れがないことを充分確認してください。）

●電源が「切」の状態、ドアを開き、水槽内の給水口から水が出ていないことを確認してください。

- ⑧食器かごを元どおりセットしてください。
- ⑨試運転終了後、安全のため家屋の水道の元栓を閉めてください。ただし機器の止水栓は閉めないでください。また電源プラグを抜いたり、配電盤のブレーカを OFF にしないでください。

10 異常報知について

●試運転で以下のように表示部が点滅してブザーが鳴るときは下記内容を確認してください。

● 消灯
☼ 点滅
○ 点灯

表 示	原 因	処 置
☼ 標準 ● 予洗い ☼ スピーディ ● 乾 燥 ☼ 念入り ● ソフト排気	運転終了後、ドアを開けずに再運転した。	●電源を「切」にする。 (再運転するときは、必ずドアを開けてください。)
● 標準 ☼ 予洗い ● スピーディ ☼ 乾 燥 ● 念入り ☼ ソフト排気	機内の水漏れ不良 本体内から水漏れしている。	●水漏れのおそれがあります。 ●至急お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●水道栓（元栓またはキャビネット内の止水栓）を閉めてください。 ●配電盤のブレーカは OFF にしないでください。
☼ 標準 ● 予洗い ● スピーディ ☼ 乾 燥 ○ 念入り ○ ソフト排気	水位スイッチ不良 試運転中の水位スイッチの動作に異常があったため。	●ドアを開け、給水口から水がでていないか確認する。(19ページの図45参照) 水がでている場合は、水道栓を閉めてください。 ●至急お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●配電盤のブレーカは OFF にしないでください。
☼ 標準 ○ 予洗い ● スピーディ ☼ 乾 燥 ● 念入り ● ソフト排気	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。 フィルター付パッキンに給湯(給水)管内の異物がつまり、給水ができないため。	●電源を「切」にする。 ●断水の場合は、断水の回復を待って運転する。 ●水道栓（元栓およびキャビネット内の止水栓）は必ず開栓する。 ●フィルター付パッキンに付着している異物を除去する。
☼ 標準 ● 予洗い ☼ スピーディ ● 乾 燥 ● 念入り ☼ ソフト排気	止水不良 給水弁に異物がつまり止水できない。	●ドアを開け、給水口から水がでていないか確認する。(19ページの図45参照) 水がでている場合は、水道栓を閉めてください。 ●至急お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●配電盤のブレーカは OFF にしないでください。
☼ 標準 ● 予洗い ● スピーディ ☼ 乾 燥 ☼ 念入り ● ソフト排気	排水不良 排水ホースの折れやつまりによって、洗浄槽内の水が排水できないため。	●電源を「切」にする。 ●排水ホースに折れぐせがついていないか確認する。(折れぐせがついている場合は直す。)
☼ 標準 ☼ 予洗い ☼ スピーディ ☼ 乾 燥 ☼ 念入り ☼ ソフト排気	ドア不良 レバーが「とじる」の位置になっていない時に「スタート／一時停止」ボタンを押した。	●レバーを「とじる」の位置にしてから再運転する。

11 試運転後の作業

- P. 9 の「1. 準備」ではずした収納キャビネットの引き出しおよび点検口のふたなどを元の状態になるよう取り付けてください。

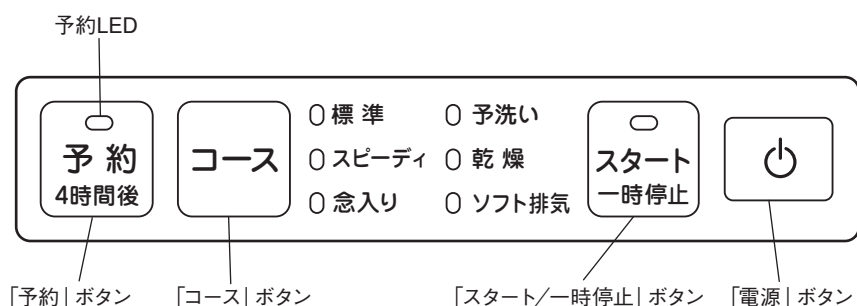
12 冷却排水の設定

- 排水管が耐熱仕様ではない場合に、冷却排水の設定をしてください。（本管に至るまでの枝管が VP 管の場合など）

設定方法

- ① ドアを閉じます。レバーつまみを「とじる」の位置にします。
- ②  「電源」ボタンを押して電源を「入」にしてから「切」にします。（リセットします。）
- ③ 「スタート／一時停止」ボタンと「コース」ボタンを片手で同時に押しながら、もう片方の手で、 「電源」ボタンを押します。（このときブザーが「ピピッ」と鳴ります。）
- ④ 「予約」ボタンを 5 秒間押しつづけます。（このときブザーが「ピピッ」と鳴ります。）
- ⑤ 上記の設定が完了すると、予約 LED が点灯します。（設定なしの場合は、消灯）
- ⑥  「電源」ボタンを押して電源を「切」にします。

（図48）



※工場出荷時の設定は、冷却排水なしになっております。

設定を変更するには、上記作業を再度行います。

13 所有者・お客様への説明

■関連事業者（設置事業者）様へ

- 取扱説明書によって、使用方法を説明してください。特に「安全上のご注意」「使用方法」をよく説明してください。
- 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しして、取扱説明書に従って、「保証・サービス」について説明してください。
- 表紙の「関連事業者（設置事業者）様へ」の内容を所有者にお伝えし、販売事業者に所有者票をお渡しください。

■販売事業者（特定保守製品取引事業者・販売店）様へ

- 表紙の「販売事業者（特定保守製品取引事業者・販売店）様へ」の内容を所有者に説明し、所有者登録を必ず行うようお願いしてください。

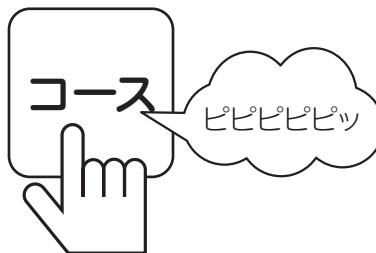
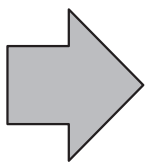
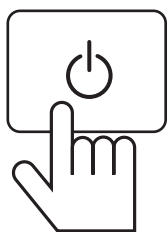
お客様への取り扱い説明

- ①取扱説明書にそって製品の取り扱いを説明してください。
- ②給湯配管をした場合は、給湯器のメリットを出すために冷水の排水行程^{※1}を設定していただくことをお客様へおすすめてください。

設定方法

①電源を「切」にします。

②「コース」ボタンを5秒間押し続けます。

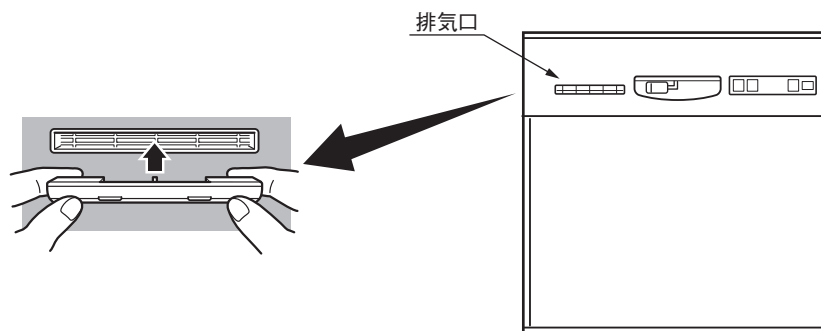


ブザーが5回（ピピピピピッ）鳴り、冷水の排水行程が設定されます。

※冷水の排水行程を取り消したいときは上記の操作を再度行ってください。（ブザーが2回鳴ります。）

※1 最初から最適な給湯温度でお湯を供給し、短時間で食器の洗浄を行うため、配管中にたまった冷たい水を排水する行程です。

- ③水槽内に食器かご、小物入れ、排気ダクトが入っていることを確認してください。また、排気ダクトは取扱説明書と一緒にお客様に渡してください。排気ダクトは、排気口からでてくる湯気が気になるお客様への付属品です。この部品を取り付けると、湯気を上方へ排気することができます。



- ④保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

14 仕 様

型 式	RKW-403A	
電 源 電 圧	AC100V	
周 波 数	50Hz または60Hz	
定 格 電 流	8.7/8.9A	
消費電力	洗 浄 モ ー タ	65/85W [50/60Hz]
	ヒ ー タ	800W
	最 大 消 費 電 力	865/885W [50/60Hz]
外 形 寸 法	(幅) 448mm × (奥行) 620.5mm × (高さ) 450mm	
製 品 質 量	21.5kg	
水 圧	0.03～ 1 MPa (0.3～10kgf/cm ²)	
洗 浄 方 式	回転ノズル噴射式	
すすぎ方式	ためすすぎ方式	
乾 燥 方 式	ヒータとファンによる強制排気乾燥	
庫 内 容 積	41L	
標準収納容量	大皿 6点・中ばち 6点・小皿 6点・茶わん 6点・吸物わん 6点・湯のみ 5点・ コップ 5点・はし 6組・スプーン 6点・フォーク 6点	

※電源プラグを差し込んだ状態では電子回路を作動させるため、約1W 電力を消費しております。

製 造 者

リンナイ株式会社



KW403A-821×01 (01)
07000008057890